

令和5年(2023)

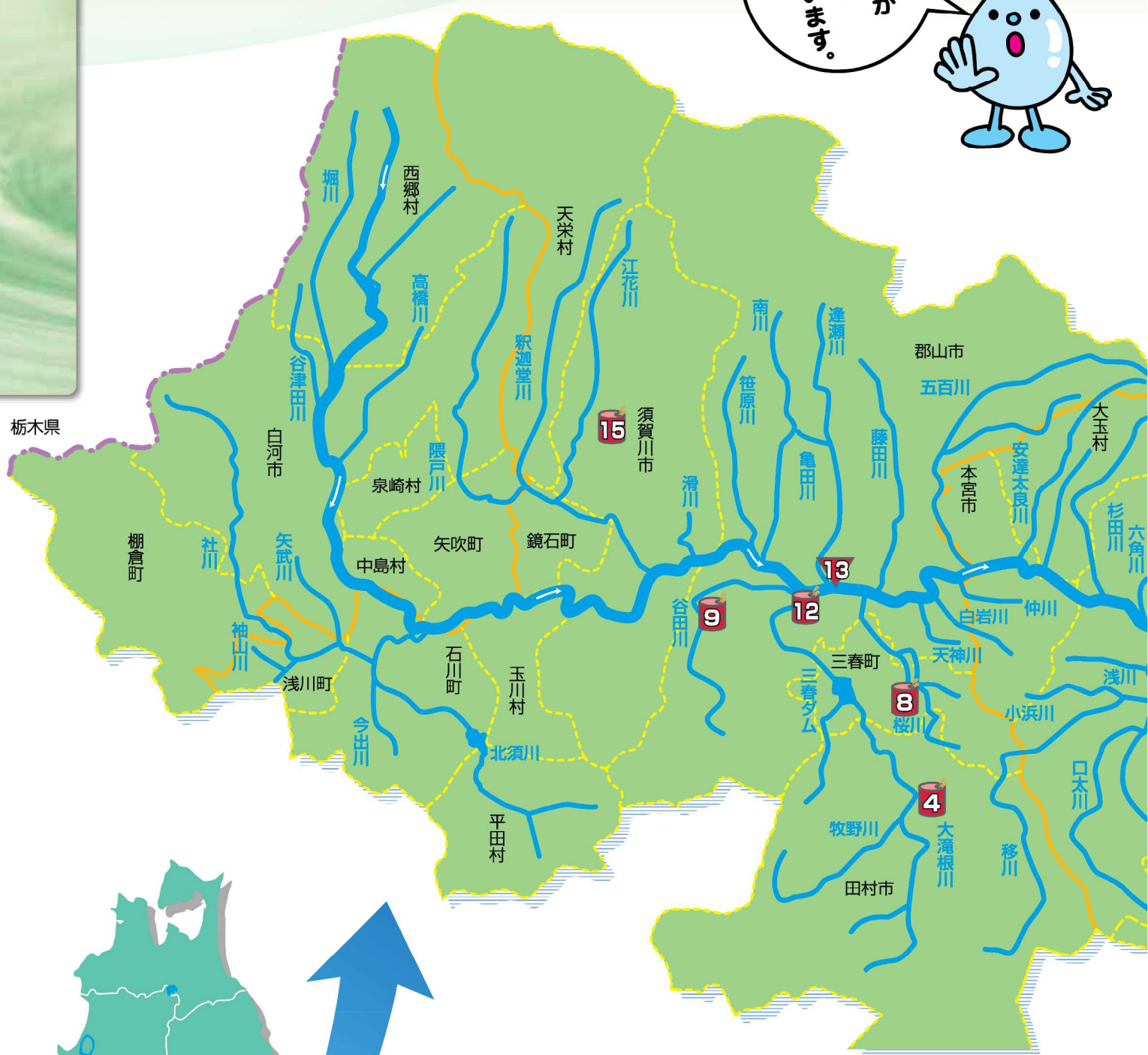
阿武隈川水系 水質事故発生マップ

忘れないでください、
その水が川から来ていること

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

阿武隈川水系 水質事故発生マップ

水質事故が
こんなに
起きています。

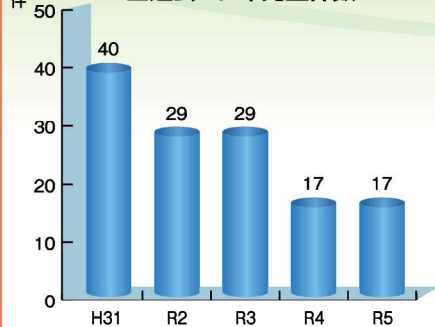


■表示の内容

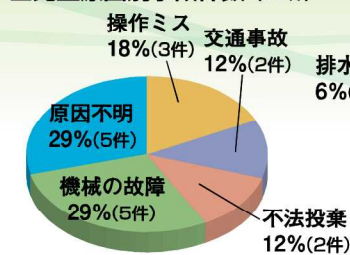
	油類	排水・ 汚泥等	化学 物質	不明	自然現象	
(福島県)	1	1	1	1	1	地図上の位置 河川名 発生市町村名
(宮城県)	1	1	1	1	1	

---	市町村界
---	地域界
---	県境
→	主な河川 及び川の流れ

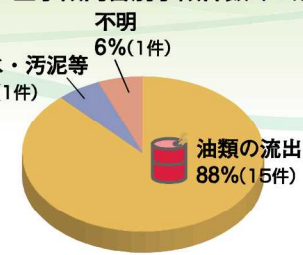
■過去5ヶ年発生件数



■発生原因別事故件数 (17件)



■事故内容別事故件数 (17件)



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会とは…

本協議会は、水質調査や水質汚濁・河川環境の保全に関する資料及び情報の交換、水質事故等の緊急時の情報連絡、その他水質汚濁対策・河川環境保全の推進に必要な連絡調整を目的として昭和46年3月に設立されました。

構成機関は、国土交通省・経済産業省・福島県・宮城県・阿武隈川流域市町村及び消防本部で構成されています。

1 高根川（川俣町）

- ① 油類
- ② 令和5年1月10日
- ③ 伊達郡川俣町小綱木閑場地内の高根川へ軽トラックが転落し、荷台に積載していたポリタンクから混合油が微量流出。伊達地方消防組合が吸着マットで油を回収。広瀬川への流入は確認されなかった。

2 摺上川に接続する水路（福島市）

- ① 油類
- ② 令和5年1月10日
- ③ 福島市飯坂町若葉町地内の養護老人ホームの排水路から合流する摺上川に油膜があると通報あり。原因はホームタンクからポリタンクへ灯油を移す途中タンクが倒れ、施設前から灯油が流出したもの。原因者側で発生箇所に吸着マットを敷設、河川管理者の福島県にて流出部の1.0km下流にオイルフェンスを設置。その後巡視を行い、発生源から下流域までの異常無しを確認。

3 株木沢川に接続する水路（伊達市）

- ① 油類
- ② 令和5年2月23日
- ③ 伊達市梁川町五十沢地内の住宅のホームタンクから灯油が流出したと消防から連絡あり。原因はホームタンクからポリタンクに移す際に、灯油30リットル程度流出したもの。消防にて流出元水路に吸着マット処理し油膜を除去後、流出先の株木沢川にオイルフェンスを設置。その後巡視し異常無しを確認。

4 大滝根川に接続する水路（田村市）

- ① 油類
- ② 令和5年3月21日
- ③ 田村市船引町字下大平地内の水路に油流出の情報の連絡あり。発見場所から水路上流約1.5kmの一般宅で軽油の流出を確認。原因者は一般宅に来訪したアジア系外国人業者。鉄くず等廃品回収業者だが、ドラム缶を回収する際に残っていた軽油を水路に捨ててしまったことが原因。消防にて流出元水路に吸着マット処理し油膜を除去、水路にオイルフェンスを設置。その後、福島県が大滝根川合流点の10m上流にオイルフェンス設置。4月4日に福島県で巡視実施、油膜・油臭等の異常が無いことを確認。

5 牛沢川に接続する水路（伊達西根堰）（国見町）

- ① 油類
- ② 令和5年5月19日
- ③ 伊達郡国見町山崎字柴崎地内の水路（伊達西根堰）に油流出の情報あり。発見場所付近の一般宅で重油の流出が発生。原因は、空の重油タンクの腐食部分から残っていた油が漏れたことと思われる。伊達消防署にて水路にオイルフェンスを設置、国見町にてタンク下にオイルマットを設置。5月22日に福島県で巡視実施、異常が無いことを確認。

6 牛沢川に接続する水路（伊達西根堰）（国見町）

- ① 油類
- ② 令和5年5月26日
- ③ 伊達郡国見町大字山崎字堰の上地内の水路（伊達西根堰）に油流出の情報あり。発見場所付近の一般宅で重油の流出が発生。原因は、空の重油タンクの腐食部分から残っていた油が漏れたことと思われる。5月19日発生事故と同一。保原土木事務所にて水路にオイルフェンスを設置、その下流にも伊達地方消防組合でオイルフェンス設置。5月29日に福島県で巡視実施、異常が無いことを確認。

7 滑川（国見町）

- ① 油類
- ② 令和5年6月30日
- ③ 伊達郡国見町森山字西国見地内の滑川に油膜流出の情報あり。油膜発見場所下流に伊達地方消防組合でオイルフェンス及びオイルマットを設置。国見町で発生源の調査を実施したが不明。7月4日に現地確認結果、異常無しを確認。

8 桜川に接続する水路（三春町）

- ① 油類
- ② 令和5年7月7日
- ③ 田村郡三春町字会下谷地地内の桜川に油膜流出の情報あり。原因は、付近住民が桜川に繋がる側溝へ古くなった灯油2〜3L流したことによる。側溝の枅に三春町にてオイルマットを設置。7月10日に現地確認結果、異常無しを確認。

9 谷田川（郡山市）

- ① 油類
- ② 令和5年7月19日
- ③ 郡山市田村町岩作字西川原地内の谷田川に油膜が浮いているとの情報あり。その後、福島県で現場確認したが油膜は確認されず。原因も不明。新たな油膜は確認されず拡大の恐れもないため対策は実施せず。

■表示の内容

油類 排水・汚泥等 化学物質 不明 自然現象

①……水質事故の種類
②……発生年月日
③……水質事故の概要

（福島県） 1 1 1 1 1

10 濁川に接続する水路 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和5年7月20日
- ③ 福島市郷野目地内の濁川に油流出の情報あり。福島市消防本部で大森川との合流点上流70mにオイルフェンスを設置。原因は、福島市黒岩字浅井地内の事業所敷地内で廃油缶を倒してしまったこと。大半は事業所で回収したが、少量が濁川に通じている側溝に流出した。7月21日に現地確認結果、異常なしを確認。

11 針道川に接続する水路 (二本松市)

- ① 排水・汚泥等
- ② 令和5年8月28日
- ③ 二本松市戸沢字六角地内の事業所にて、アンモニア化合物・ホウ素化合物を含む汚泥がポンプの故障により、曝気槽からオーバーフローしたとの情報あり。事業所の敷地では汚泥が確認された。針道川に通じる側溝に原因者が土のうを設置し、針道川への流出は無し。また、汚泥は排水処理基準以下のもので人体への影響は無い。福島県で側溝と針道川で水質分析を実施したが、いずれも環境基準値以下であった。

12 谷田川に接続する水路 (郡山市)

- ① 油類
- ② 令和5年11月30日
- ③ 郡山市安原町地内の安原橋付近の阿武隈川で油膜が流れているとの情報あり。郡山出張所(国)で現地を確認し、谷田川の谷田川橋付近でも油膜を確認。郡山市が現地確認し谷田川橋上流の左岸にある石塚樋門付近で油膜を確認。石塚樋門に繋がる水路を上流へたどってみたが、少量で油種等は確認できず発生源も確認できなかった。石塚樋門吐口付近に郡山市が吸着マットを設置。12月5日に郡山市で現地確認結果、異常が無しを確認。

13 阿武隈川に接続する水路 (郡山市)

- ① 不明
- ② 令和5年12月5日
- ③ 郡山市富久山町久保田字古坦地内の水路から阿武隈川に赤褐色の水が流れているとの通報あり。郡山出張所で阿武隈川合流点の古坦樋管周辺を確認し、赤褐色の水は確認したが、魚のへい死や異臭等は無し。郡山市で簡易水質試験を実施したが、異常値は確認されなかった。また、水路の上流を確認したが発生箇所や原因は不明。

14 八反田川に接続する水路 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和5年12月17日
- ③ 福島市鎌田字卸町地内付近の八反田川に油らしきものの流出の通報あり。その後、福島市消防本部と福島市環境課で現地を確認し、卸町地内の事業所内の水路から八反田川に油膜が流れているのを確認。しかし、発生源は不明であった。福島市消防本部が、発生源箇所付近に簡易オイルフェンス及び吸着マットを設置。福島市環境課で八反田川を、伏黒出張所(国)で阿武隈川と八反田川の合流点付近を確認したが魚のへい死、油膜、油臭は確認されず。12月20日に事業所が水路の清掃作業を実施し福島市消防本部で設置したオイルフェンス、吸着マットを撤去。

15 稲川に接続する水路 (須賀川市)

- ① 油類
- ② 令和5年12月18日
- ③ 須賀川市木之崎字下ノ東地内の国道118号でバックホウを載せた4tトラックが凍結路面でスリップし、水田に転落。トラックのアームロールからオイルが水田に漏れ、付近の水路を經由し稲川に流出。福島県で稲川にオイルフェンスを設置。須賀川市は釈迦堂川の上水道の取水口にオイルマットを設置。須賀川市で現地を確認し、水田から稲川に流れ込む水路の合流点付近で少量の油膜は確認されたが、それより下流の河川では油膜は確認されず。12月25日には、水田付近の水路の油が染みこんだ土壌を原因者が撤去。須賀川市が異常無しを確認。



1 阿武隈川に接続する水路 (角田市)

- ① 油類
- ② 令和5年4月18日
- ③ 個人宅の大形トラクター又は軽油タンクから軽油が流出

2 五間堀川に接続する水路 (岩沼市)

- ① 油類
- ② 令和5年9月27日
- ③ 廃棄物処理業者敷地内から設備故障により油が流出し、側溝を通じて河川へ流出

■表示の内容

油類 排水・汚泥等 化学物質 不明 自然現象 ①……水質事故の種類
②……発生年月日
③……水質事故の概要
(宮城県) 1 1 1 1 1

タンクからの 油流出事故にご注意!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、うっかりミスや故障などが原因です。給油中は目を離さず、また配管などの定期点検に努めましょう。

ご家庭のホームタンクは大丈夫?

流出事故を防ぐための心掛け

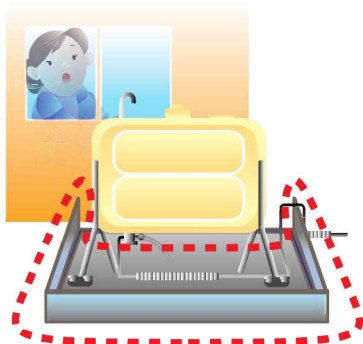
①その場を離れない



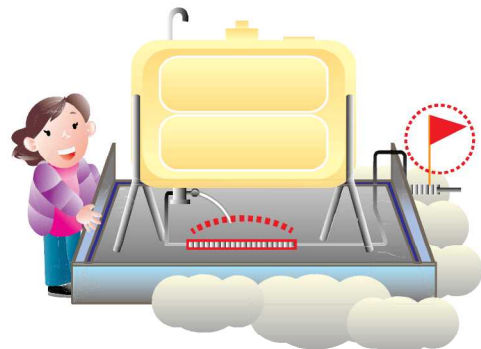
②定期点検を怠らない



③防油堤設置で安心



④配管場所には目印を



ホームタンクからの 油流出事故にご注意!



油の流出などの水質事故により設置したオイルフェンスや油吸着マットなどの設置経費は、原因者の負担となります。



水質事故とは

川に油や化学薬品などが流れ出ると、水が臭くなったり、魚が死んだり、水が使えなくなったりします。また油の量が多いと火災のおそれもあります。



水質事故の傾向

事業所では施設の劣化、保管状況の点検不備、機械類の操作ミスによる油等の流出があります。一般家庭では暖房用灯油ホームタンクの栓の閉め忘れや、交通事故等を原因として水質事故が発生しています。

不注意から水質事故になることが多いので、日頃の点検や作業手順の確認をして水質事故を防ぎましょう。

発生もしくは
発見したら

水質事故

被害を
最小限に



直ちに仙台河川国道事務所・福島河川国道事務所や宮城県(土木事務所)・福島県(地方振興局)・市町村・消防署・警察署へご連絡ください。

川へのやさしさは、 人へのやさしさです。

あなたの捨てた水を、下流の人々が利用しています。

あなたは、汚していませんか？ 大切な水を…。

暮らしの中で出される「生活排水」を、魚の棲めるきれいな水にするためには、これだけの水が必要です。
あなたは、自然に大きな負荷をかけていませんか。



味噌汁

(200ml)

1,500ℓ必要
(浴槽5杯分)



お米のとぎ汁

(約2ℓ)

1,200ℓ必要
(浴槽4杯分)



牛乳

(200ml)

3,000ℓ必要
(浴槽10杯分)



日本酒

(1合・180ml)

7,200ℓ必要
(浴槽24杯分)



そして

使用済み
天ぷら油

(500ml)

99,000ℓ必要
(浴槽330杯分)

私たちは、知らない間に川を汚しています。家庭から出る生活排水は、污水处理施設(下水道・集落排水・合併浄化槽)へ流しましょう。



料理に使った揚げ油を
流すのは、汚染の原因です。

油を分解するためには、
大量の水と時間が必要です。

対策 油はグル状に固め、ゴミと一緒に
捨てましょう。

味噌汁、米のとぎ汁も
汚染の原因です。

あたりまえのように、排水口に捨てていませんか？

対策 食べ残しをしないよう心がけましょう。
また、無洗米を使うと、とぎ汁が出ません。



節水のため、お風呂の
残り湯を使いましょう。

お湯で洗うと洗浄力もアップします。また、
洗剤はリンを含まないものを使いましょう。

ポイント 汚れていないお湯は、捨てずに
沸かして2度使いましょう。

排水口に古いストッキング、
細かいゴミも取り除きます。

ちょっとした工夫が、美しい水環境を守ります。



ポイント 下水に流れ込んだゴミは、ネズミ等の発生を促す
原因となり、家庭環境への影響も懸念されます。



上流部

【福島市】五十嵐惇さん



下流部

【岩沼市】林 千晴さん

図画部門
特選

令和5年度

児童図画コンクール

ポスター部門
特選

上流部

【白河市】山田果凜さん



下流部

【白石市】平間琴葉さん



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

上流支局事務局

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36
TEL (024) 546-4331

下流支局事務局

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすと長町四丁目1-60
TEL (022) 248-4131